

平成29年5月18日
商 工 中 金

「地域連携支援貸付制度」福井県第1号案件 福井産米を飼料として「ふるさと福井の米たまご」を生産する 株式会社土田鶏卵の設備投資を金融面からサポート！

商工中金は、平成28年4月に「地域連携支援貸付制度」を創設し、幅広い事業者が連携し、農林水産物や観光資源等の地域資源を活用して成長を目指す取り組みをサポートしています。商工中金が期間10年一括償還・成功利払いの長期資金を供給することで融資先の事業リスクを軽減しつつ、民間金融機関と協調して融資に取り組み、地域経済の活性化を図るものです。

商工中金（福井支店）は、同制度を活用し、株式会社土田鶏卵（本社：福井県福井市、代表者：榊井 寿和氏）に対し、北陸銀行、日本政策金融公庫と協調して、「ふるさと福井の米たまご」の生産拡大に必要な設備資金として2億円を融資しました。本件は、同制度の福井県第1号案件です。

株式会社土田鶏卵は、福井県内有数の鶏卵卸売業者で、安全・安心な卵を県内の食品スーパー等に販売しています。また、株式会社デイリーエッグツチダは、養鶏部門を担い、徹底した衛生管理で良質な卵を生産しています。

今回、同社は鶏卵製造における衛生管理強化と高付加価値商品の開発を目的に、株式会社デイリーエッグツチダと福井産米の流通を担う越前たけふ農業協同組合と連携し、福井産米の飼料に限定した養鶏で、食品のトレーサビリティを確実にし、安心・安全な鶏卵を県内スーパーに販売する事業計画を策定しました。

商工中金は、本事業が福井産米の活用促進、安全性の高い鶏卵の消費者への供給等につながり、農業をはじめとした地域経済の活性化に資するものとして、北陸銀行、日本政策金融公庫と協調して必要資金を融資しました。

商工中金は、今後も全国各地の地域資源を活用する事業に本制度を活用しながら、地域経済の活性化に貢献してまいります。

○代表事業者の概要

【株式会社土田鶏卵の概要】

所在地	福井県福井市御幸2丁目25番44号	資本金	3千万円
代表者	梶井 寿和	従業員数	57名（平成29年4月現在）
業種	鶏卵卸売業	設立	昭和56年6月

○共同事業者の概要

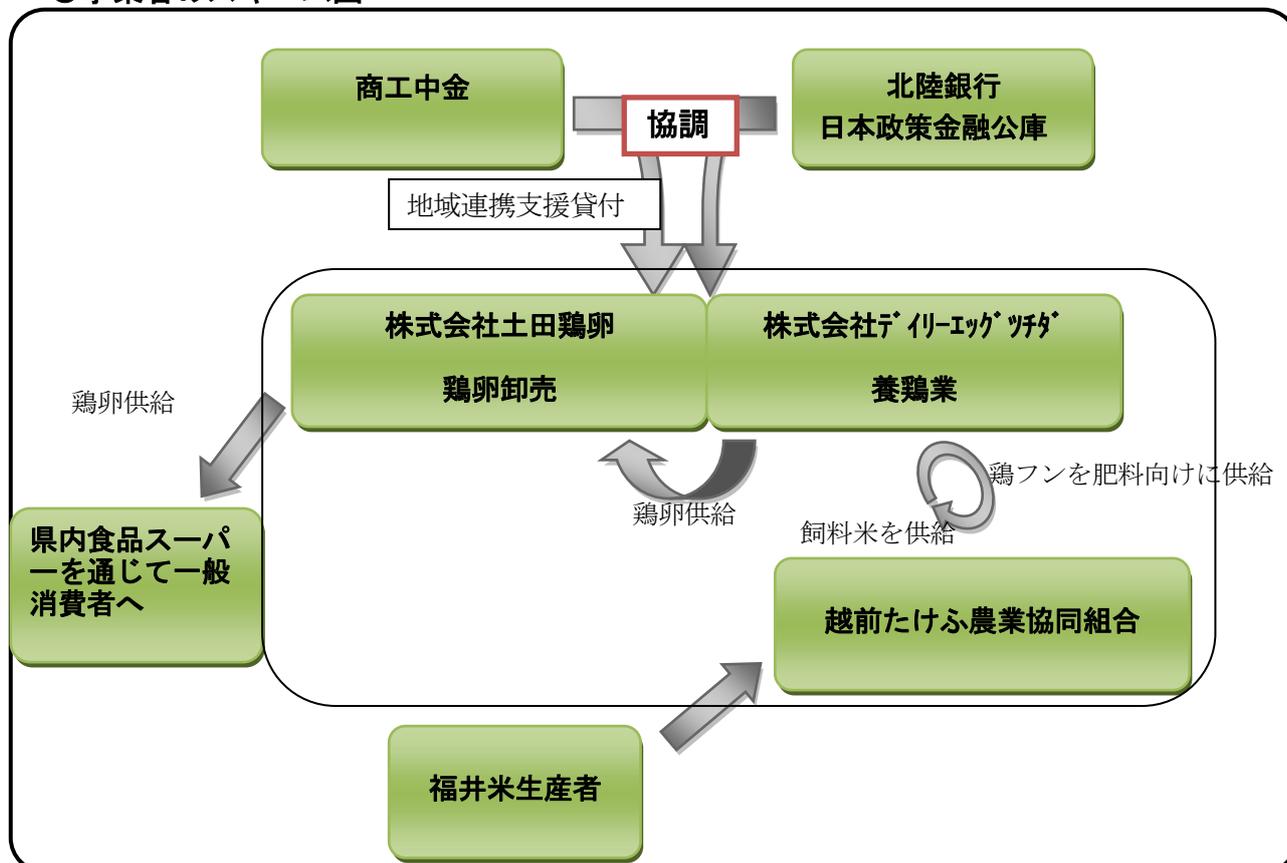
【株式会社デイリーエッグツチダの概要】

所在地	福井県福井市御幸2丁目25番44号	資本金	3千万円
代表者	山田 武彦	従業員数	26名（平成29年4月現在）
業種	養鶏業	設立	昭和61年12月

【越前たけふ農業協同組合の概要】

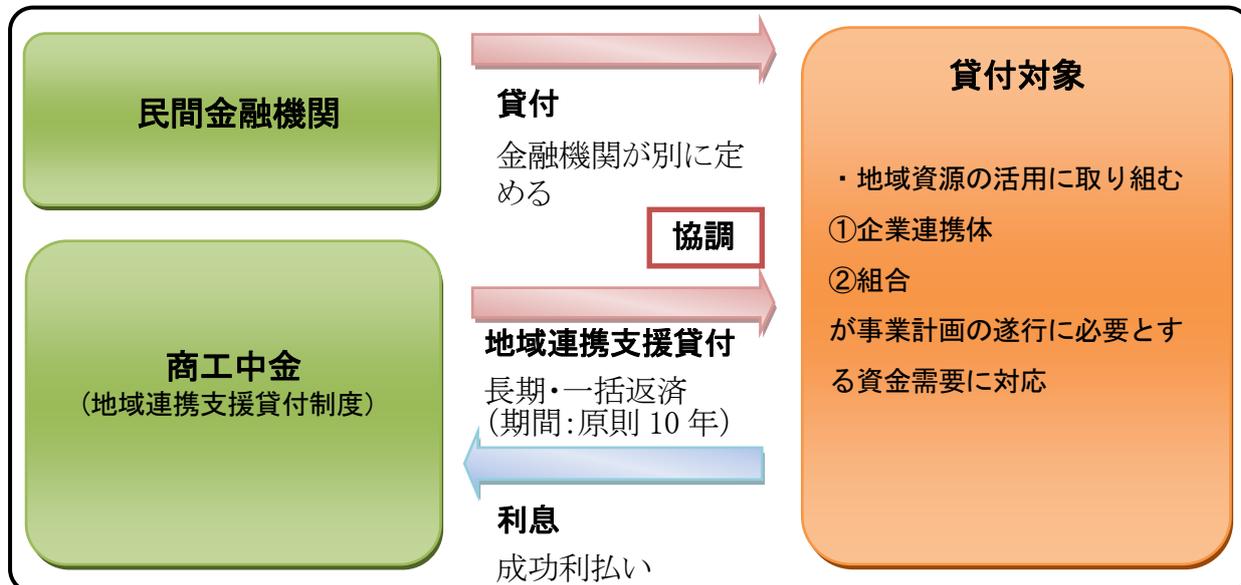
所在地	福井県越前市本多二丁目10番22号	資本金	28億3百万円
代表者	富田 隆	従業員数	219名（平成29年4月現在）
業種	農業協同組合	設立	昭和39年8月

●事業者のスキーム図



【参考：地域連携支援貸付制度の概要】

1. スキーム概要



2. 貸付制度の概要

○貸付条件

貸出形式	証書貸付
限度額	1 計画あたり 5 億円
償還方法	期限一時返済
利率	成功の場合は当金庫所定の利率、不成功の場合 0.6%
貸付期間	原則 10 年

○利率（成功判定）

- ・利率は、事業の成否に応じた変動金利とする。
- ・債務者の直近決算の経常損益が赤字の場合は0.6%、黒字の場合は商工中金所定の利率とする。
- ・なお、黒字の場合であっても、地域資源活用計画期間中は、地域資源指標の達成率が 80%未満の場合は0.6%とする。